京城日日新聞

電話 編輯用 三三一八番 營業用 三三一九番

發行所 京城日日新聞社 朝鮮京城永樂町二丁目七三 振替口座京城八〇三七
編輯兼發行人 島羽 印刷人 松崎宗次郎

東京支局 東京市麴町區下六番町一〇 電話九段一八五〇
大阪支局 大阪市北區堂島中一丁目三六 電話北七五五番

第一義生活の提唱（下）

我等は如何に生活すべき乎

文學士 小林一郎

▲我等が外面的に眼を向けて居る生活は兎もすれば批評的であり、排他的の生活となる。それが具體化しては、權利の主張のみに終つてしまふ。しかし我等は外面に眼を注ぐよりも、その前に、内面生活に眼を向ける必要がある。この人生觀の相違から、人生觀もそれぞれ違つた方向に進む

▲人生の意義は如何、我等の日常生活もこの人生觀に徹底して生れ出でたものでなくては、淺薄であり、その日暮しに終る。然らば我等の生活は互に權利を主張し合ふべきものか、それとも或は感謝の生活を爲すべきであらうか。私は結論を急ぐために玆に一例を擧げる

▲狹い電車の中くらひ世相のよく現はれてゐるものはない。我等が電車に乘る。若しその時乘る人と降りる人とお互に權利の主張をし合つて居たとする、乘る人は「俺は正當に賃銀を出して居る だから乘りさへすればいいひ」といふ。降りる人にも同じやうな主張がある。「俺が降りる邪魔をするな」といふやうに、權利の主張のみをすることになつてくると、人は極端な利己主義を發揮して來る。

▲同一の人間でありながら、乘る時と、降りる時との心理狀態が變つて來る。即ち乘る時に降りる人を嫌んだ心は、自分が乘る時になると忽ちにして、乘る人を嫌む。これでは個人生活に於ても社會的な生活は出來やう筈がない。この反面に感謝の心と同情の心を以て生活をしたならば、社會生活は圓滿に運行する。結局我等は權利ばかり主張して個人主義の我見による生活を爲すべきか、社會連帶の考へを持つて生活すべきものであるか。自ら分明することである

▲如何なる野蠻人にでも、愛と闘とがあるといふことは、ドンな原始的な生活を營んで居るものでも、人は一人では居られないと云ふ證據である。人は孤獨では居られない、どうしても社會生活を營まねばならぬ、人の心と心とが抱合つて時、玆に群を爲す、そして社會を造る。シエークスピアは云つた。「一人で居れば神になるか―獸類になる」と神にならざる多くの人々は、獸類に墮ちる方が確實である

▲我々の心と心との一致くらひ好い氣持のするものはない。自分が非常に好いと信めて居る繪畫の前に立つた時、側から「何んだ、ツマらない繪だ」といつた時、好い氣持のするものではなからう。否、その人には憎惡心さへ湧いて來る。これが人間だ。若しその時に困惑を表して現れるものであつたなら、その人はドノ位愉快であらう。で人々の心の底には、他人と心を共にすることに愉快を感ずるものを藏して居る我等の社會生活に於ても眞に意義ある生活をしやうと思ふならば、我々の人生觀の根底から打ち立てゝからねばならぬ。

比律賓紀行（三）

小林淺吉

大正七年六月八日、大連汽船株式會社荷物船興順丸に便乘して比律賓に向ふ。同船は速力十浬、荷物船としては船足の遅い方で八日間で馬尼剌港に到着する。大連から長崎を經て馬尼剌へ行くにくらぶれば、日數に於て、費用に於て餘程の便利である。午後一時、船は徐々に纜を解いて、大連港外の波を蹴つて一路南方に針路を向けた。大連よ、さらば。之罘沖に達した頃、機關の響きと船體を叩く波の音を疲して、暗の裏を下された、此の船中の無聊を慰めるものは、マドロスものは數々のロマンスである九日、寢床を離れて上甲板に上る霧の切れ間に星がジロ／＼と瞬いてゐる、霧を帶びた海風が、ジメ／＼肌にウスら寒い、やがて東の方に電光の様な紅味が差し始めた見るとそれが次第に濃くなつてやがて黒雲の千切れ目から、朱盆の様な半圓形の太陽が現れた。二等運轉士が日輪だ／＼と叫ぶ。なる程三日月の形をしたが次第に大きく圓くなつて行く午後船は丈餘の荒波に甲板を洗はせながら鼻神を通過した、そうして十一日の正午には上海沖をすぎた右舷遥かの波路に黒山島が見え左の方には舟山列島の諸間に檣を見ずるを見る、十二日は終日濃霧深く波濤は甲板を洗ひ十浬の着本進力もやつと六哩ほか出來ない、白浪かしらと黒い波の谷とが入り亂れ飛び散り海上黒白の縞を折つて紬に亂れ散る、空には鉛色の雲が低かつた。

翌くる十三日は風も幾分か凪いで雨も止み波も餘程穏かになつた。聞けば昨夜は船員一同一睡もとらずに波浪と戰つた。船は既に臺灣沖にある、日こそ照らぬが著しく暑熱が加はつた。合ひ服でも凌ぎ難いので皆白服に着換た、午後左に新高山續きの諸峻嶺、右に澎湖列島を見て、數日間の單調を慰めたが、同時に風と共に多數の蚊や蠅がふえて一方ならず船上の快を削ぐ、山東角邊から船に飛び込んだ五六羽の小鳥は、澎湖島へ飛び去つて其姿を見せぬやうになつたが、其代り變つた小鳥が二羽、奇聲を放つて船中の無聊を慰めてくれる。船に恐れて飛び上る、無數の飛魚も、洋上に於ける奇觀の一つである、此の夜から餘り蚊が多くなつたので蚊帳を吊つてくれた、十四日の夜船は臺灣の南端を過ぎ十五日夕には早くも呂宋島の沖にかかつた、東方遥かに呂宋島の山が見える、十六日の朝は船が岸近く沿ふて行くので呂宋島の山々は手に取るやうに見える。

小品

かずよし

もつと人間味に徹底した生を營みたいと願つてゐる。人間苦のドン底に觸れて、其處から眞實の珠を拾つて來たい。現世に生きてゐる人類の、誰もが實感する苦痛と云ふものを味はひ、其處に因襲の殻を打破して、ユニックな自我の存在を認識しなければいけない。此の意味に於て、私は現實主義者でありたい。未來否定の嚴者でありたい。「羽根の生えた人間が天使だ？、此の世にエンゼルなんかあるものか」と、傲然と言つたクウルベエの力強さでありたい。破壞よりも建設、否定より肯定である。

思想の通過する國

在京 一記者

▲去年はマルクスの時代であつた今年はクロポトキンの時代である來るべきものは何々……といふやうに、思想界の目標物は常に轉回して居る。ベルグソンヤオイケンの哲學ものが爭ふて讀まれたのはツイ數年前のことであつて、今は國民のキレイに忘れ去つたことである

▲勞働問題も一時世間の問題となつて、この問題を口にせざれば人に非ずとまで思はれた。そして今は又、その大方を忘れて仕舞ふて居る。歐米諸國では數十年、否數百年も經てもまだ解決のつかぬこの問題も、日本では一年もたたぬ間に既に先方に返上するといふ仕末だ。早急性といはうか、飽き性といはうか、此の分では殆ど思想も考へ出ず思想のさへない國の早足で思想が通過して行く

▲デモクラシーが唱へられて居るかと思ふと忽ち過激思想が侵入して來て、森戸事件の後に至つては、その焔を擧げて來た。しかしこれもどうやら下火になつたやうだ、この様な愛新國民に取つては遂に來るべきものは一大回轉して官僚主義でも謳歌さるゝやうになるかも知れぬ。雜誌も新聞も、民衆の先へ廻つたり、後から追つかけたり、題目を改め流行衣を着せて只管讀者を引き附けることに努めて居る。

▲社會といふ文字さへ避してあれば、よし、それが如何なる書物でも賣れ「勞働問題」とさへあれば翼が生へて飛んで行く。「マルクス資本論」が發賣三日にして二萬部賣りつくしたといふ。驚の様な事實話がある。然るに今日では最早、「勞働問題」の書籍などを振向く者もないと迄いはるるに至つた。眞劍の思想を受け容れる態度がまるで花見の酒に醉つ拂つて居るやうな道化氣分で居る。左顧右眄、冷熱去來、變轉も又驚くべきである

▲かくして、國民の持久性は鈍く全くその日暮しの姿となり了つた徹底よりも糊塗に、大器よりもお手先の器用へる方が尊重されるに至つた。若し靜かに此の傾向を眺め遊んで權力野心の持主となることを得ず、退いて低級淡泊の氣分に甘んずることを得ざるものがあつたとすればそれ等は冷やかに己れを持して、質素氣分に停まり外に表し方はあるまい。此の國ではいつも思想は通過して行く。

新刊紹介

■横須賀軍人の實例（若月文學士著）此書の說く所軍事精神の緩徴を穿ち現時動搖變化しつゝある國民思想に對して一片の注射論（定價金共四十七錢東京本郷西片町新月社發行）

創作 熱光の下を（三）

曉谷

私は餘りに平凡すぎると思ひ込んでゐたお前の口から吐き出された警句に思はず、ハタと胸を衝かれたやうに思つた。

「食はないちや。お、さうだ。食はないちやまつたく駄目だ」と何遍も胸の内で繰返して、宛ら一縷の光明を認めた漂流者の如に叫んで見た。

「眞實つて何だい、懐しい時のパンの一片にも足らねえぢやないか」と作中の人物に叫ばしめたゴーリキイのことも思ひ出された。生き甲斐のない者なら、死ぬそのが眞實だと詠嘆した「夜の宿」の役者の言葉も肯定されて來た。私は空しい願みを待つてゐる許りだつた。生活と藝術の十字路に立つて。當もない福音を待つてゐるのであつた。

學校の方でも、新聞社の方でも、大連でも宜いから、何方かが早く自分を不安から救つて與れることを願望の一つに數へてゐた。或日、大連から返事が來たのには、兎に角やつて來さへすれば何うにでも御世話をしやうと云ふ意味のことが書いてあつた。けれ共餘り漠然とした事なので容易に決心も付きかねるのであつた。

「迚もお母さんが大連なんかには、やつて下さらないと思ふワ」とお前は暗い面持ちで呪ふやうに呟いた、此時の私は、殆ど以前のやうに儚い夢も言へない程氣が弱くなつて、死を待つ衰へたる人の如に淵狀溜りついてゐた。忙しい例節の食卓に向つても斯うした暗い心持ちから離れ切れないで、母親ぽいことを言ひ合つて十二時近くまで話し込んでゐたりしたものだつた。

立野からお阿母がやつて來たのは、丁度さうした不安定な動揺の最中で、小雨の降る日だつた。私は展覧會後の事務整理に忙しかつた爲に、其日も半日宅に居なかつたが、お前達親子は妙に秘密話らしい事を私語いてゐたので、氣には掛り乍らも又いつもの神經過敏で、自分の臆測だらうと思ひ流して出掛けたのだつた。

さうして、私が夕方歸宅すると間も無くお阿母は、淵のお稻叔母さんの家に行くと言つた。今から思ふと、お前やお阿母の顏色に或冷やかな暗い心持ちが漂ひ切れないと見えたのも、決して私の神經過敏から許りぢやなかつたやうだ。お阿母が出て行くとき、降つてはいけないと言ふので、自分の洋傘を無理に持たしてやつた。それが大變故意であるらしく見て取つた私は、自分では邪推だと思ふ位嫌惡に、或不吉な前兆を知つたので、雨後のひつそりとした街路に暮て行く灘暮の色を呆乎と凝視てゐた。

「洋傘を持たしてやつたら後でお前が困るぢやないか」まだ電燈の點かない陰鬱な書齋で、長火鉢を兩方から挾んで座つた時、斯う言つた。

「でも、近い内に父が來るさうですから、其時持たして寄越すでせうと思ひまして……」

そんな理窟は通らないと危く口まで出掛つた語氣を抑へて

「まア、何でも好いサ」と答へた切りだつた。融け合はぬ様な、ちぐはぐになつた二つの心が各自のことを思ひ廻らし乍ら暫時沈黙を續けてゐた後で

「母も妾達の生活を心配して頻りに貴郎が若いものですからね」兄ましたのヨ」とお前が口を切つた。

「兄達も心配でならないらしいのですの。確乎して下さいよ」

「若いからつて言ふが、年で人の實力は解らないよ。熱等お前が言つた譯で、書齋で飯を食つてる者に金儲けをやれと言ふのは無理な注文だ。私にや、これ以上出來さうにないンだ」

「だつても少し生活向きの事に頭を向けて下さらなくちや妾はまつたく立つ瀬がありませんワ」

「だから、此間から大連に手紙を出したり新聞社や學校にまで頼んで歩いてるぢやないか」

「毎月、足らないで米の五升買ひは辛いのですよ」お前は全然私の言はうとしないところを言つてゐるのだつた。

「……生きてゐるだけ幸福ぢやないか」

「幸福でもありませんよ。着物も質に入れて家政の補助をしてゐるのに」此の言葉は漸くも私の全身を動揺せしめて、思はず手先が顫へを帶びて來た。

電話番號變更廣告

一弊店儀從來電話番號二四〇番ニ有之候處今般都合ニ依リ左記番號ニ變更仕候ニ付此段廣告候也

變更番號 三四二六番

大正九年十月十日

京城若草町一三三 松浦榮太郎

拜啓小生儀本年六月以來別府并に寶塚温泉に轉地療養中の處今回左の所に假寓目下天王寺鳥潟外科病院に通院して鳥潟博士の治療を受け居候間此段先輩并に辱知諸君に謹告候也

大正九年十月一日

假寓 大阪市天王寺勝山通三丁目卅番地

山口諫男

自宅 京城長谷川町五八

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町一丁目

電話長五八番、一九四番 振替京城一一三番

銀行一般の業務を營み簡便確實に御取扱申候 爲替取組先は内地各方面并朝鮮滿洲の地に有之候

専賣特許 アート式精米麥機械ハ時代ノ最高權威者也

動力用精米麥機 人力用精米麥機

壹晝夜ニ馬力ヲ運轉スル一日ノ精白高優ニ三四十俵

各種共 運轉輕便 使用簡易ニシテ婦人子供ニテモ容易ニ作業スル事ヲ得

自働精米麥除麥裝置

拾俵搗より百俵搗迄 各種 本廣告ニ依リ申込者ニ對シ破格提供 詳細說明書ハ申越次第進呈

製作發賣元 大阪市西區南堀町 東亞物産社 振替大阪三五四三七番

開店披露

金質確實

美術品 裝身具 金製作 並彫刻 販賣

京城府明治町二丁目六十八番地 貴寶堂 店主 荒木俊雄

辯護士 法學士 赤尾虎吉

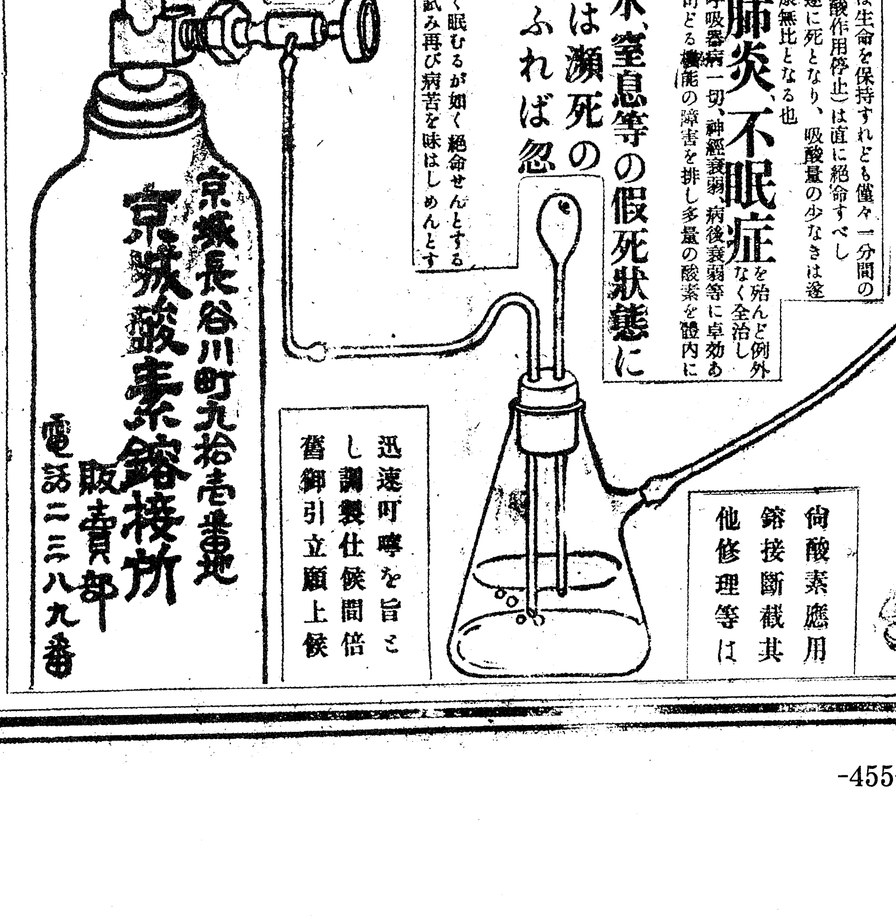
京城府黄金町二ノ一四八 電話一一六三九番

人は一週間絶食して猶ほ生命を保持すれども僅々一分間の呼吸停止（即ち空中の吸酸作用停止）は直に絶命すべし即ち吸酸作用の停止は遂に死となり、吸酸量の少なきは遂に病となり、多きは健康無比となる也

◉酸素吸入が流感、肺炎、不眠症を殆んど例外なく全治し喘息、百日咳、其他呼吸器病一切、神經衰弱、病後衰弱等に卓効あるは即ち吸酸作用を司どる機能の障害を排し多量の酸素を體内に供給するに依る

◉感電、溺水、窒息等の假死狀態にある者又は瀕死の錦魚に用ふれば忽ち蘇生す

◉病苦の絶頂を脱し漸く眠むるが如く絶命せんとするは患者に各種の注射を試み再び病苦を味はしめんとするは患者を拷問するに等し、寧ろ酸素法に依り臨終の苦痛を輕減せしむるに若かず

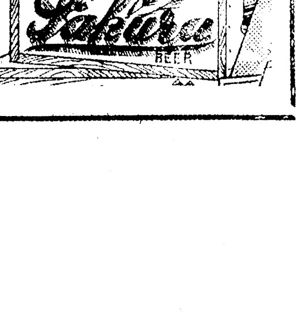


尙酸素應用鎔接斷截其他修理等は

迅速叮嚀を旨とし調製仕候間倍舊御引立願上候

サクラビールに限る

大阪市立衛生試驗所で行はれました分析の結果各種麥酒中季飲料として最も優良なる事を證明されました本品で御贈答用として亦最も適當なる麥酒であります



內外電報

羅馬罷業再發す

羅馬の鐵道從業員は要求の容れられざるため電氣工業は再び大罷業を起せり(羅馬來電)

民兵武裝解除要求

ハイス會議にては獨逸に通牒を送りて即ち民兵の武裝解除期日延期を拒絕せり又ハイス會議は獨國に要求されたる軍器を破壞せざるべからずとの提議をなせり(巴里來電)

共產主義擴張策

露國一般に傳へらるゝ所に依れば莫斯科政府はウエルフネ政府領袖トベルソン氏に命令を發し極東露國の共產主義を擴張するに最も障碍となるべきカツペル軍の解散に凡ゆる手段を盡すべしと命ぜり(哈爾賓來電)

浦鹽聯立內閣分裂

巴里に達したる情報に依れば浦鹽聯立內閣は分裂を來し極右黨民主黨のみは居殘りウエノクラトツ、フイカコウイツチ及びチンメリマンの三氏は辭職せり(巴里來電)

ウ將軍の羽翼成る

クロウエツチ將軍はウランケル將軍に電報を送りて軍事上の指揮權を全然承認し又セミヨノフ軍は共產黨を含まざる政府は總て之を援助すべき旨を回答せり(哈爾賓來電)

露國租界問題協議

九日の外交團會議に於て露國租界の處分其他に就き協議行はれたるも英國公使未だ本國政府の訓電に接せざる爲何等の決定を見ずして散會せり因に英國公使は支那の露國租界管理に對し最も反對を唱へつゝあり(北京來電)

日支軍事協定廢止說

北京よりの消息に依れば吉田東興少將は日本參謀本部よりの命令に依り軍事協定廢止に關し十一日より交涉を開始すべし右に就き新總理と顏外交總長は八日打合せをなしたり(上海來電)

支那出兵に抗議す
琿春事件交涉紛糾乎

支那政府は日本の琿春出兵に反對ある旨張作霖氏のもとに打電し來りしより張氏は帝國領事館よりの出兵通告に對する回答として右の抗議を奉天總領事に移牒し且つ特派員關海濤氏をして十一日赤塚總領事を訪はしめ右は張氏の本意に非ざるも政府の命止むを得ざる旨を傳へしめ同時に十日來奉せり洮南鎭守使闞朝璽及東軍參謀長町野顧問赤塚總領事と共に善後策を議せしめたるが之が爲本件の交涉多少紛糾に向へるより九日出發歸京の豫定なりし立花軍司令官及十一日出發の筈なりし町野顧問も歸京の見合せを命ぜられたり(奉天來電)

間島大擧掃蕩宣言

鮑吉林督軍は一週間以內に大兵をして間島に向へ大掃蕩を行ふべしと(北京來電)

舊議員重慶集合

舊國會議員百二十名は重慶に集まり双十節即ち十月十日開會護法戰爭の運動をなすべし(上海來電)

新築陸軍要塞地
八丈島及大島に內定

本年度の陸軍要塞新設箇所は八丈島及大島の二箇所なりと(東京來電)

內大臣後任問題
結局平田子の就任乎

山縣公の上京が隈侯と會見の爲ならむとの世評紛々たる中に山公は十日芝の屋敷に松方侯を訪問の西園寺公平田子中村宮相なとゝ會見したるが之か政局に關係あらざるは中村宮相の混じ居るに知るべきのみ而して問題は內大臣選任にあることは想像に難からず即ち松方侯の內大臣辭任の意あるに由り平田氏を後繼者として推薦した子は健康の許さざるを理由として拒絕せるも所も一方松方侯の辭意堅く如何共動す能はざるを以て山公は西園寺公と共同し平田子の親任を慫慂したるもの如く結局平田子の就任を見るに至るべきかと觀測せられつゝあり(東京來電)

軍需評議開會

軍需評議會は十日原首相官邸に於て開會持久戰略問題委員を指名し調査を附託せり(東京來電)

コ氏運動費 寄附

民主黨本部の發表に依れば民主黨大統領候補コツクス氏は大統領選擧運動費として五千弗を寄附(紐育來電)

哈市引揚邦人

在ハバロフスク杉野總領事發其筋着電に依れば十月七日午後一時第一回引揚民二百七十七名哈地を出發し內百名はニコリスク方面へ七十九名は浦鹽に向ふべく又本官及館員一同はニコリスクに引揚ぐる筈にて當分同地に滯在する筈なり(東京來電)

國庫證券 賣出期

鐵道建設及改良費に充つるため五分利國庫證券額面二千萬圓發行の件十二日官報を以て告示せらるゝ筈にて其の賣出條件左の如し(東京來電)

(一)發行大正九年十一月一日(二)發行價格二千萬圓(三)額面種類二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓(七種)(四)賣出價格二十五圓(二十三圓六十五錢)五十圓(四十七圓二十五錢)百圓(九十四圓九十錢)五百圓(四百七十二圓五十錢)(五)償還期日大正十四年六月一日迄(六)利率年五分(七)利子支拂期日三月一日六月一日九月一日十二月一日

撤退軍松花江着

ハバロフスクを撤退の日本軍は無事黑龍江を遡航し松花江に入れり(哈爾賓來電)

秘密に會見す
山公と隈侯

山縣公上京以來大隈侯との會見は世間の注目する處となり居れるが某消息通の說に依れば山縣公は之が爲種々の風說の生ずる事を恐れて八日夜付某所に於て極めて秘密裡に會見したりと(東京來電)

目的は東亞大宣傳
看過し難き過激派の支那活躍

既報支那政府の露國舊代表機關不承認宣言は支那政府が外國顧問等の提議に基き東支鐵道其他の利權回收を目的としたること疑ひなきも之を露國側より見れば其熱望する所にあらざるべからず、而も任命の形式に依らんか支那政府はウエルフネ系統のものを以て之に充つるは疑ひなく又選擧に依る場合に於ても其採否は一に支那政府の方寸にあるを以て同じく準過激派の者之に任ぜらるゝの心算大なるは言ふ迄もなし

對支通商 を促進すると共に將來對東亞過激主義宣傳機關の進入に依り勞農政府を利することも大なるものあるを想察し得べし、抑今次の舊代表機關不承認がウエルフネ政府代表ユーリンの活動と相待ちたるは既報の如く又張中將が莫斯科に出張し何等かの諒解を得たることも之を無視すべからず、且今回の宣言が列强と沒交涉の下に行はれたる等より察すれば選次支那の利權回收熱と勞農政府の希望との符合より來れるものなることは疑ふの餘地なき所なり、今

勞農政府 が將來支那に於て享受すべき利益に就て考ふるに先づ通商開始に依る物資の輸入は其一なりと雖も從來小規模の通商に至りては既に伊犂、新疆方面に於て着々捗り行はれたる所にして張口及北滿地方に於ても彼の五十露里地帶法等を利用せばその實行敢て難しとせざる所あり、然るに露國が東支鐵道其他の利權を放棄するも尚且つ之を辭せざらんとする所以のものは要するに通商以外更に將來過激派代表者の爲め準公式地位を獲得し依て以て

大に宣傳 を逞ましうせんとするの望を斷するにあるや明かなり、且つ今日在支露人は其數五十萬と註せられつゝあり、果して然らば支那政府が舊公使及領事を不承認せる以上此等の露人は何等かの代表機關を得たれば今後其利益を確保し能はざるは明瞭するまでもなし然るに其方法としては之を國際管理に委するか或は今日の如くウエルフネ代表に依るかの二者を出でざるべきも、既に支那政府が自國官憲の手に依り之を處理せんことを宣言せる以上或は各租界は支那官憲の管理下に於て便宜代表者を任命し又は選擧に依る

露國代表 者を置き之に直接交涉を依託するに至るやも知るべし、かくて一度過激派側代表者の

公式駐在 を認容したる以上其宣傳事業を大袈裟に開始し常に大々的成功を收めたるは彼の獨逸、ウクライナ及最近英國に於ける實例に徵するも明かなり、果して然らば利權回收のために直目的に着手せる選次支那政府の行動は他日過激派の對東亞活動上に一新紀元を劃するの素地たるべく延て支那と痛切なる利害關係を有する帝國は經濟上、國防上、慎重なる考慮を要するべきは言を待たず(某消息通談)

上旬鮮鐵在貨

本月上旬末に於ける鮮鐵在貨は南行六千一百二十九噸北行八千九百五十八噸計一萬五千〇八十七噸にして其の主要品は下記の如く穀類の出廻り順次好況を呈したると漸く物季節の切迫は漸く其の必要を感じたるにより前旬に比して一千〇七十三噸の增加を示し稍々活氣を呈するに至れり(表中△印は減を示す)

品名	數量	比較
米	九〇五	四八九
麥	七八	五二
大豆	四五三	六九
雜穀	四五	一九
粟	二六	二六
干魚	八九	八二
鹽	二、五二二	九八八
煙草	一〇	一〇
綿	二六	二六
木炭	五六	△二三
新叺	五三	△九七
繩	二〇	△一八
石炭	一、六一四	△八四三
木材	九八二	△四三六
石材	七八	二六
枕木	五九六	四二三
煉瓦	九八	二
セメント	二九六	一九八
礦石	二、八八二	△一五二
其他	一、三七七	△一九八
雜用品	二、七三四	四〇五
工業用品	一八五	△二七五
合計	一五、〇八七噸	一、〇七三噸增

朝郵今期減配

朝鮮郵船會社今期決算は地方支店出張所よりの報告既に本店に出揃ひ略纏りたる由なるが成績は旱魃影響財界不況等に

返還の是非と鮮鐵の將來(二)

撫堂生

鮮鐵委任經營が無意味なる事前述の如し從つて經營の結果が芳からざるは實に已を得ざる處なり等しく鐵道經營と云ふも鮮鐵と滿鐵とは其立脚點を異にす一は大連を大發展の策源地とし事每に大連築港の爲めを努り一は鮮地發展の爲め釜山をして歐亞大陸のハーバートたらしめかんとするは現時に於ける鮮滿の利害なり從て鮮鐵は貨客の鮮內通過の多からん事を望む故に滿鐵が大連集中策を捨てざる限り朝鮮鐵道との間に鐵道營業の方策に一大矛盾あるは免るべからざる處なり故に鮮鐵は或程度迄競爭者の地位に立つべき鮮鐵自營上已むを得ざる所なり二鐵道立脚點の異なる事實は此の如し此間滿鐵が鮮鐵を經營する行爲上滿洲貨物の一部を割いて鮮鐵を落すが如き事を斷行し得べきか現滿鐵重役新任後間もなく貨物運賃を改正せし事あり當時營口と大連との運賃に差額を生ずるに至りしは奧地穀物生產地と營口との距離大連に比し近かりし爲なりしが故當然の結果なるに拘はらず大連商人は之を以て大連の死命に關する重大問題なりと爲し之に關し滿鐵當局に肉迫したるに滿鐵は其運賃發表前何等かの確信を有するもの如き態度にて改訂を爲さざる底の口吻を漏らしたる運賃なるに拘らず既に發表せし運賃を更に改正發布せしが如きは本項二者の關係緩和する事能はざるを想見し得べし

朝鮮鐵道は總督府直營の下に之を經營運用するも時に足らざるの憾みあるべき筈なるに拘らず過般滿鐵に委任經營せしむるは果して實に之を全なる策なりと稱し得可き乎加之近時鮮內各地に私設鐵道布設の實現せむとする機運あり不幸財界不況の餘波を受け二三の鐵道會社解散の悲運に遭遇せしと雖も現在苦心中のもの一部を持續し得べき運びに至らざるは其狀態の如何を未來に屬し空々苦心中のもの一部を摘記せんに本年四月の如き鐵道會社の設立を見るべきものは鐵道經營に從事する者の便宜を得ることとなり。一般の鐵道學校設立を除く外別段好況にして其の給水設備不良の爲め釜魚他の水を汲み込まるゝも更に顧みる事なく使用に堪へざる古機關車の二三を以て、技術員、事務員等に比較的優秀なるもの多數を有する現鮮鐵を一週間永きは漸く一ヶ月間其生命を持續し得たるに留まるが如き若し夫れ乘客に對する不親切、乘務員の親切等に至つては殆ど手の附け樣なき狀態なるが故に

(以下略)

賊團の行動と對策
機略を藏して軍司令官歸る

急遽旅程を變更して歸來せる軍司令官大庭將軍を訪問すれば長途の旅行に疲勞の氣色も無く快く引見して曰く「予に對して琿春間島方面の賊團に對する前後の處置計畫を質問するは無理なり」と答へ尚或る方面より入電ありたる同地〇〇〇〇除の〇〇除出動說に對しては「電報が來り居らず」と答へ、詳細なる消息には接し居らずと

奉天戰前 に當り大山氏に對して奉天攻略の策戰如何を質問するが如く唯非常識に過ぎしと何々大笑せり

軍醫志願者檢查

第二十師團軍醫部にては召集規則に依り京城醫學專門學校學生中の醫學部委託生徒志願者佐伯、尚山、中鐵、熊谷學生に對し十二日午前十時師團司令部に於て志操性格に關する檢査を終了し午後一時より步兵第七十九聯隊に於て平川軍醫身體檢査を實施する由なるが若し檢査に合格し入學し得るに於ては朝鮮に於ける醫學生軍醫たるべき處なりと

實業大會終了

全鮮實業大會は十二日午前十時前日に引續き開會、京城代表原勝一、開城氏郞、忠南燕岐久保田政吉、平南新安州福井武次郞、平北宣川鎭南浦諸氏の實狀報告及希望陳述あり全部の演說を終り代表者出席者一同北漢講演より到來せる意見を朗讀せしめ午後一時休憩し二時更に開會元老株たる鐵南滿田田代氏及平壤の松井民治郞、京城釘本藤次郞氏等の演說あり其れより提起人に於て出席員述べたる意見及び希望を宗合し結論となるべき案件を作成提出したるを協議し陳情委員を選定して四時閉會朝鮮新聞社の招待の明治町第一人形座に開催する懇親會に赴き歡を盡し散會せり

豆滿の流

を横ぎりて一大決戰を試みん等と放語し居れりと人も此の準備と此の組織とを有する我守備隊に對して果して何を爲し得べきや、元來此の賊團は生還する者僅に二三名なりと言ふが彼等賊團にして一度江を渡らんか生還する者或は一人もあらざるべし之を彼等が爲めに惜むと云ふは余は其の衷情に同情するが如きは能はざる處に大害

慈母に對する 賊團の如く彼等に對して其の罪を責むると共に救濟の手段を講ぜよ、江岸守備隊は恰も小兒の予を使ふこと是なり、予が昨年迄西伯利亞に於て統率せし部下の兵卒の約三分の二は第三師團の者なりしこと、快感なるもの小兒の中の感想を述べしが之を見るに此の全兵は唯彼等の爲めにも一兵卒に至る迄克く其の位置と責任とを自覺せることとなり、「江岸巡視中最も深く感じたることは守備の任に當れる各兵卒が對策に就きては始く質問するに從ひて是等過激的色彩を帶び來れる不逞鮮人馬賊と稱するよりも更に之を惡化して過激派的の行動を見るに就きては其の何れも皆附近民家其他の建物中に起き臥しの生れ地ならざるは余が江岸の狀況を明にして元氣旺盛なりと結び更に今回の事件に就ては中秋に對する討伐其他の賊團討伐に就て解散せり

第二十師團國勢調査

第二十師團國勢調査は所屬各部隊の調査書類の取纏めも終れるよりの調査書類を以て不日總括集計を了し夫々報告の手續を行ふべしと云ふ

公設市場貨物割引

大邱公設市場行大貨物に對する朝鮮線運賃は來る十六日より明年一月十五日迄規定の三割引を以て取扱はるべしと

西伯利より

△本社一社員は過般來西伯利視察中なるが其の報導を綜合するに、今や西伯利事情が日本及滿鮮に傳へらるゝものにて頗る誤謬多きを指摘し來れり。

△殊に堂々たる大新聞紙事にも屢其の誤謬あるを遺憾とする所なるが例へば過般來大々的に傳へられたるセミヨーノフ將軍が負傷せりとの報道の如きは全く誤傳にして僅にセ將軍の乘りたる汽車が脫線せしに過ぎざりしなり

△過激派及反過激派何れも敵者の不利なるや大宣傳を試み居れる虛構に滿てり故に西伯利事情の傳を以て兩派より出でたる說は殆どへらるゝもの十中九迄は信ずべからざるものなりと云ふ

△バロンウンゲルは其支隊を率いて蒙古國境へ赴きたるを以て其の代りとしてダフリヤへチルバフ支隊を至りダブリヤ守備隊となりセミヨノフ司令部は既に滿州里よりチタへ歸れりと云ふ

△蒙古の庫倫を中心とせる活佛等の獨立騷ぎに應じて奉天軍は之れが鎭壓に向へりとの報あり更に活佛の自治獨立は外人の援助あるが故に頗る有力なりと傳へらるる

△彼れ之れ相綜合してバロンウンゲル軍の蒙古國境行きは頗る注目に値すべきものなり

△過般來傳へられたるが如くウンゲル將軍の軍隊中には某々有力なる外國人あるは事實にして其の勢力は侮るべからず殊にウンゲルが萬一にも活佛を援助するが如きことあらば茲に一大波瀾を惹起するは免れざる事なるべし

△更に此の眞相の判明に伴れて稍興味ある國際問題の伏藏せられあるも又頗る注目に値す

△吾人は蒙古活佛の自治騷ぎと西伯利軍隊の蒙古國境入りとの二者を綜合して近き日に痛快なる報導を期待し得べしと信ずるものなり

黃海道海州より

▲海州にて日用雜貨類高價なる爲め購買組合組織の計劃道廳側

滿鮮商議出席者

十五日より奉天に於て開催する可き滿鮮商業會議所聯合會に對し仁川商議よりは萩谷會頭及岡本書記長出席の筈なりしが萩谷氏都合に依り出席不可能の爲め白神副會頭列席する事に決定、兩氏は十三日夜行にて出發すべし(仁川)

納稅告知書發付

京城府に於ては本年度市街地稅第二期分の納稅告知書二萬千三百六十一通を本月八日に又京城學校組合戶別割第三期分の告知書一萬七千三百六十九通を本月十日に夫れ各納稅義務者に向け發付したりと就ては郵便配達の都合にて配達終了までには數日を要すべき若し此十五六日頃迄に告知書到達せざる向あれば土地所有者又は學校組合員は京城府廳に御問合はせあれたしとのことなり

英艦仁川入港

英國東洋艦隊所屬巡洋艦「カイロ」號は十二日早朝釜山發十三日仁川に來り二週間碇泊し二十七日大連に向け出港すべしと(仁川)

石塚總裁張宴

十一日夜水野政務總監以下主なる官吏百餘名又十二日は右京城實業家並に地方實業家二百餘名を朝鮮ホテルに招待張宴したり

志賀博士着任期

總督府醫院院長後任志賀博士は十三日東京を出發し十五日着任の定なるが其際滿州醫學大會に出席の北里博士と同行の由にて尙北里博士は京城に下車するや否やは未定なりと

總督官邸晚餐會

齋藤總督は十三日午後六時半より大庭軍司令官を官邸に招待し晚餐會を催す筈なり

歸鮮

課より起りしは既報せしが吾人は滿州の爲め面白からざる問題として調停に努めんと一商人に會見したるに曰く二三割の利は當然にて暴利呼ばりは片腹痛し雜貨商のみ犧牲にさるゝ理由なり折衝調停に努る必要なしと

▲官吏側曰く不眞面目なる人爲的騰貴は全然打破すべく購買組合は當然必用なり而して組合經營者は二三日前來海馬事打合の上近く實現すべしと果して安價購入の途を開くか海州商業界に恐慌を起すや否は疑問なるも商人側も徒に我利我利は商道の禁物なり

▲海州には昨今湯屋で羽織を失敬したり某家では日中洋服や着物を盜難に罹ると云ふ所々に盜難頻々たり各自大に注意を要す

人事

▲澤村辰二郞氏(總督府會計課事務官)目下胃腸病にて引籠り療養中なり

▲小坂新夫氏(報知新聞社記者)從軍の爲十三日朝出發北鮮へ

▲島崎孝彥氏(本府技師)十八日附咸北道內へ出張被命

▲本間德雄氏(同上)同日附江原道管內に同上

▲西譯宗徹氏(大使館書記官)書記二名を隨へ揮春事件視察の要務を帶びて近く來京の豫定なり

▲田澤和福氏(陸軍步兵中尉)十三日朝後方部隊として龍山より元山に向け出發

▲澁谷卯四藏(同上)同上

▲倉田省三氏(一等軍醫)同上

▲竹內友治郞氏(遞信局長)十二日正午元山へ

▲白上前高等警察課長　同內地へ

二面エキス

■露波・兩國の講和會議は莫斯科に於ける內容如何に依るべきも有望なりと云ふモスコーシのこと

■米國・國務省は日本の海底電線を太平洋岸に揚げんとするを拒絕せりと國務省は又落無性に通ず

■バル・チザンの首長ウンゲルン男はセミヨノフより除外命令を受けたり赤を離れは顏色を青くす

■英國・飛行將校三十名遙々日本に來り教導指導すと云ふ英國として海外に此擧あるは嚆矢なりと

■支部・土匪討伐の爲軍隊を間島に派遣す運雨ながら變い心持と云ふべきも局合の愁何事が爲さん

■革命的同盟罷業が葡萄牙に勃發せり世界の形勢今や混沌として將に混迷に包まんとす平和不可能

■佐倉・聯隊司令部に盜難あり動員書類を盜まる時局緊張を示せる

■山公・入京し政界活氣を呈せんとす在野黨何等積極的手段を講ぜざるは痛破の至りなり健兒起て

■秋冷と共に虎疫漸減したるも更に腸チブスの流行を見る此際此時各人の注意警戒衞生を希望す

株式界

こたことか今日は多少の活氣を見せたでも出來高は矢張り五百株內外のものだと云ふ▲京株は相變らずの十八圓台を動かない儘も得もない譯だから取引所の事務所建築は日に進捗しつゝあるがそれよりも振興策の進捗を望みたい

商況

十二日大阪入電後場

銘柄	値
大株	九四、〇〇
同新	九五、一〇
郵船	一二、七〇
同新	五六、六〇
商船	七三、一〇
鐘紡	一九、一〇
同新	一七、一〇
東株	六三、三〇
上海	三五、九〇

十二日東京入電前場

銘柄	値
鮮銀	一〇八、〇〇
東新	二九、〇〇
拓新	四二、〇〇
同新	一一、〇〇

京株市場出來値(十二日)

銘柄	前場	後場
京取 寄	一八、五〇	一八、六〇
京取 引	一八、六〇	一八、三〇
殖新	二三、四〇	二二、〇〇
同	二三、〇〇	一二、〇〇
東新	—	—
拓新	—	—
仁取	—	—
鮮銀	—	二六、〇〇
實銀	—	—
商銀	四四、〇〇	四三、〇〇
同新	四〇、〇〇	四二、〇〇
韓一	—	—
東拓	四七、五〇	—
鮮土	—	—
同	一一、六〇	一一、五〇
朝紡	—	—
滿毛	—	—
京電	—	—
同新	—	—
瓦電	—	—
漢銀	—	—
殖興	五、三〇	五、三〇
同	五、二〇	五、四〇
朝紙	—	—
滿粉	—	—
鮮新	—	—
東畜	—	—
殖鐵	六、三〇	六、五〇 / 六、六〇
朝皮	—	—
朝肥	—	—
京實	—	—

出來高　十一日前場　四九〇　十二日後場　計　五二、三二〇

仁川期米特電

十月十二日前場

節	寄	止	高	安	公
一節	三一、一〇	三一、一五			
二節	三一、三〇	三一、四〇			
三節	三〇、九〇	三一、〇〇			
四節	三〇、八〇	三〇、九〇			
五節	三〇、九〇	三〇、八八			
六節	三〇、九〇	三〇、八五			

十月十二日後場

節	寄	止	高	安	公
一節	三〇、〇五	三〇、一五			
二節	三〇、六五	三〇、五八			
三節	三〇、六一	三〇、五五			

東京期米特電

十月十二日前場

中限止め　先限寄附　二十八圓四十九錢　先限止め　二十八圓十九錢

大阪期米特電

十月十二日前場

節	當限	中限	先限
一節	三六、一	三六、四	二八、〇〇
二節			二七、九四
三節			二七、九〇
四節			二七、八九
五節			二七、八八
六節			二七、八五
七節			二七、七〇
八節			二七、七七
九節			二七、六七
十節			二七、六五

十月十二日後場

節	當限	中限	先限
一節	三六、〇	三六、六	二七、六六
二節			二七、六七
三節			二七、七〇
四節			二七、七〇
五節	三六、〇	三六、二	二七、六〇
六節	三六、〇	三六、一	二七、六〇

仁川米豆取引所仲買人　各仲買店　電話二〇五番

仁川米豆取引所仲買人　倉重株式店　電話長三六〇番　受信略記イサヤス

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話七九五〇〇・六三二

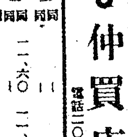
店員入用　運送ニ經驗アル者御來談ヲ乞フ　京城水標町　丸江運送組　電話二四五九番

百貨　京城水標町　丸江運送組　麻川利川忠州原州方面各地行運送取扱　電話二四五九番

體溫器ハ　總督府醫院檢査濟ノモノ、ミヲ販賣ス注射器類各種專門藥品器械治療材料　京城長樂町一六　赤心堂石井商店　電話二五二八番　振替京城七七四一番

內科小兒科皮膚科花柳科　永樂醫院　京城永樂町　電話一九四四(西本願寺前)

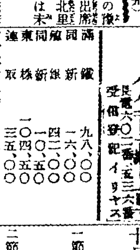
金貨型メタル進呈



懸賞募集　課題本廣告中に數字が幾つあるか　用紙官製はがき　宛名京城府黃金町二ノ十四秀麗堂　〆切十月三十日限り

今回發明せられたるミエル金は其地金にて全然永久に變色せざる十八金に於ける有利的な堅牢なる十八金の代用品なり今般廣告の爲め五千個のメタルに發明者の知名を金寶の本賞と致し正解者に抽籤を以て發表し出來上りたるメタルの贈呈を受けられたる者は三十錢の郵券にて送料を手數料として送られたし

KAZEPIRIN　調劑確實有効保證　カゼピリン　熱風　大學病院採用品　樂天堂製藥株式會社



蠅撲滅　總督府並ニ警務局衞生課御用品　京城本町四　本舖　川浪濟生堂

コレラ豫防に　總督府並ニ警察衞生課御用品　殺蟲劑認可濟(包裝)實色

刺繡講習一　京城刺繡講習所　京城龍山漢江通十五番地十八銀行横　會費一ケ月一圓入用の御方は郵券二錢封入御申越相成度候　教室內には圖案に要する諸種の參考品備付あり就業時間以外には御隨意御來觀有之度候

釜山日報代理部　京城太平通(場京城五三三八番)

定價　太閤印鉛筆は四大缺點の心折れない書くがよい　大阪特約　太閤印鉛筆　鉛筆の四大缺點は總て無くなる

東宮殿下の御外遊
伯爵の御資格にて歐州諸國へ
目下は佛語を熱心に御研究中
＝某宮内官の謹話＝

皇太子殿下には伯爵の御資格を以て御渡歐の途に上らせらるゝの内議あり目下元老の間に協議中の由なるが右に就き某宮内官は語る「東宮殿下には東宮御學問所に於かせられて高等普通學問の御修行中なるが來年四月を以て御豫定の課程を御修行に相成る筈にて其の後御渡歐遊ばさるゝ内議が今日に於て協議されて居る次第で外國に御出でになる前には内地に未だ御見學を遊ばさせられざる地方が多いまだ一度も殿下を御迎へせざる地方もある從來奈良北海道の御巡遊も延期となつて居り且又御外遊に就ては外國語の御活用が十分でなければならぬので目下佛語を熱心に御研究中であり又外國人に對する必要なる事柄に就ても御研究遊ばされて居る殿下には御成年に達せられ殿下時代が最も御都合が好いので斯くした御内議はあるので未だ決定しては居らぬ」（東京來電）

……日曜學校大會の聖劇……
世界日曜學校大會は連日帝劇に於て開會されて居るが寫眞は第三日に上演された聖劇

聖恩に感泣して
加奈陀大學教授の謹寫したる
兩陛下の御眞影を
日曜學校大會より獻上す

此程世界日曜學校大會を東京に開催せらるゝに際り我皇室に於かせられては特別の思召しを以て多大の御下賜金ありたる結果同大會に於ては優渥なる恩召に感泣し感謝の意を表せむが爲加奈陀コロンボ大學教授ハースト氏は過般來御眞影を謹寫中なりしが敬しく謹寫終りたるを以て之が贈呈の爲十一日午前九時半大會々場たる帝國劇場に之を奉安し會員一同奉拜式を濟ましたる後マクラレン氏外代表者之を奉持し宮中に參内中村宮相を經て畏き邊りへ獻上の手續をなしたり（東京來電）

花井博士の入京に
緊張せる孫一派公判
全被告未決日數通算と言ふ
懲役三年を頭に無罪八名
頗る寛大な檢事の求刑

花井博士入京と共に人氣立ちたる孫秉熙一派續行公判は豫定の如く十二日午前十時より京城地方法廷に於て湯原裁判長新井杉原陪席判事水野檢事立會の上開廷例に依り定刻前既に傍聽席立錐の餘地なき迄の大入滿員にして新調の

法廷服姿
嚴々しく花井奥田兩博士、朴、鄭、金、李、木尾大久保許金享燮十一辯護人着席するや裁判長より孫秉熙は病氣の爲め出廷せざるも缺席の儘公判を續行する旨言渡しあり簡單なる指名點呼の後水野檢事は流暢なる辯に[illegible]を以て被告四十八名に對する事實の指摘犯罪の摘發刑法の引用に就き約一時間半の永きに亘りて詳述する處あり左記の如く各被告に對して求刑せり

（懲役三年）孫秉熙、崔麟、權東鎭、吳世昌、李甲成、李昇薰、朴熙道、李寅煥、吳華英、韓龍雲、崔南善、成台永、金弘奎、李寅煥（懲役二年）安世桓、金智煥、康基德、金元璧、劉如大、李景燮、林圭、外十二名（懲役一年）金世煥、韓秉益、鄭廣朝、（無罪）金道泰、朴寅浩、黃容、林圭、宋鎭禹、鄭魯湜、玄相允、玄曾達、以上四十八名

右の求刑終りたる後水野檢事は更に

語を續け
各被告四十八名に對して絶對一年有半に亘る未決拘留日數加算の頗る寛大なる求刑を行ひ最後に各被告並に全朝鮮人に警告すとて國際聯盟並に民族自決云々の意義及鮮人が之等の意味を解せずして徒らに盲動するが如きは即ち鮮人自ら自轉自滅するものなりと結び斯くして帝國刑法の本則より打算して如何なる主義主張と雖もこれに相反するものは即ち人道の敵なりと結論を與へて着席す時に十二時半一先づ休憩午後再開す

仁愛の心が眞實
法律の奥に存す
の正義人道なりとて
劈頭檢事に鐵槌を下した花井博士の辯論

午後二時再開當日の花形辯護人花井博士が先登せる一般の注目中に立ち上がり劈頭前審地方法院に於て許辯護人の申立てに依る高等法院が事件を地方法院に廻送するに於て其決定書の主文に「送致す」との明文なかりし爲地方法院は之を可とし事件公訴不受理の判決を與へたるに地方法院檢事は之れを不當として覆審法院に控訴するに到りたり然るに覆審法院に於ては何故か公訴不受理に關する審理を本事件の審理と同時に行ふ旨を宣し直に事實の審問に入りたるが斯は矛盾も甚しきものにして檢事の控訴事實は即ち控訴不受理問題にありて事件に對する何等の控訴もなし然し

覆審法院
に廻附せられたる本件は即ち本件は地方法院判決を不當として控訴するに到りたるものなれば本辯護人は之が審理に就て何等の言明する能はず勿論絶對反對の意見あり然れ共今日は本辯護人は先づ被告等十七名の供述に依り被告自身となりて之を辯明するのみ」と自己の苦しき立場を説明したる後被告等の發せる獨立宣言書は或意味に於て朝鮮自治の要望に過ぎず且又

或意味に
於て一部行政に對する不平の聲なりと詳細に亘りて凡例を引用して説明する處あり續いて水野檢事に論を向け「檢事の論告中に法律の認むるもの即ち正義人道にして之れ以外るものあるは正義人道に非ずとの言ありたるも斯は檢事の誤解甚だしきものにして正義人道とは即ち法律の奥に存する仁愛の心を指すものなり」と先づ檢事を抑へ置き更に

慘虐の巷琿春より
九死に一生を得て
歸來せる西那澄氏
見るもの聞くもの……
悉く酸鼻の極

過般來外務省囑託被顧として琿春帝國領事館に在勤し居り前後數回に亘りて馬賊團の襲來を受け手荷物行李等の所持品の殆どを掠奪され且つ猛火の放てる猛火を潜り拔けて九死に一生を得て七日琿春より會寧の途次龍山驛に下車したる西那澄氏は當時目擊せる逐一を語りて曰く第一回琿春を襲つた馬賊は

掠奪
を目的とする支那性の馬賊であつて其數約三百名之に萬と言ふ匪賊が牛耳をとり先づ琿春東門より闖入して城内到る所に放火して置いて掠奪を逞ふし更に西門外に及んだもので其後各地に派遣された我警官隊よりは續々の情報があり賊團は府の北方四里許の處に滯在して再擧を圖りつゝありと謂ひ或は三里の後方に在りと云ふが如く警報頻々として來るに不

晝夜
警戒を怠らなかつたが十月二日午前四時に到るや前回の來襲せる馬賊團と更に不逞鮮人を加へ約六百の大群を組織して鎭東と稱する者之を指揮し賊團は（前首領芝瑛は鎭東の部下たり）突如として觀戎街道を西行して領事館の手前より殆ど一丁許りの處に築かれたる高さ二尺の堤防に伏して先づ館の如き一齊射擊を試み先づ警衛に當れる支那官兵を狩盡しにした後遂に領事館を包圍した

忽ち
構内に侵入し先づ構内にあつた守備詰所に到り附近にある木造の家具類を山積して石油を注ぎて火を放ち其の餘勢を以て構内領事館西方に在る警官官舍二棟を燒き拂つた此時附近に在住せる邦人で館内に避難し來たる者無慮百名に達したが何れも領事館は西門外に內鮮人の避難した館中に集合して不安と恐怖に戰慄し居り領事館は構外より一二丁許り

爆彈
二個を投擲した者があつて轟然たる爆音と共に火は先づ消抹用に多量の石油を吸收し居たるノリウムに延燒し決死の防火も何等の效無く焔々たる猛火は忽ちにして天に冲し凄慘なる光景に絶した折柄中庭の避難民は此處にも居堪まらず更に館の東北隅に在る領事室の厨房に避難した然に全く防火に絶望した私は急遽中庭の南東隅を距る廊下を走つて一度前記領事室に避難したが其車寄せには一尺五寸方の厚さの五厘許りの鐵金鋼板の鎧戸を構げあるより如何にして取外さんものかと彷徨ち館員若干名を呼んで再び引返した時附近に立ち居た賊團は何れも支那官兵と等しき服裝をなし右腕に

赤布
を纏ひ鳥打中折帽等を戴き銃を擬して居りしが我等を認むるや一齊射擊を浴びせ始め彈丸は雨の如く落下して危險頗る方なき有樣であつたが辛ふじて斃れたる館員の手にする銃を取つて應戰し[illegible]

（前略）の警官派出所にあつたまゝ賊の爲めに通路を失ひ警官十名許りを除ける殘員の者と館員一同とを指揮して勇敢な應戰と放火とに努めて居つたが私は其時領事館建築物の西南隅にある警察署事務室に到りた折柄（署長佐谷武氏は此時既に賊彈に斃れた）賊團中數名の者が隣接せる領事裁判所に

棒持
して巡査部長及鮮人二名と共に此處に居られた一同は茲に與はぬ命を得たが何れへ逃げるべき血路さへもなく途方に暮れつゝ夜を徹した、此の際佐谷警部が職に殉じた外巡査部長並に鮮人巡査檢束が戰死し避難民の傷れる者三、裏門に逃走して射殺されたるもの八名負傷者は多しく居留民會長門脇默吾氏の如きも館内の廊下にて警戒中賊彈に大腿部を貫通されて目下陸軍で加療中

破壞
放火を以て目的とした茲に賊の首領陳鷹が馬上で赤旗を揚げて全隊を指揮して居つた一隊は何れも右腕に赤布を纏える等何等かの暗示を與へて居つたものであつて賊團中馬賊の一人々々が何れも各人數名を目擊したと云ふ者もある眞偽の程は分明せないが虐殺とのみは信じ難い點がある茲に城外に逃走した者は何れも身命を全ふしたるも襲來と同時に領事館に避難して賊彈に斃れた者も亦孫に悲慘なるは内地人商人原田錦次の一家であつて夫婦は何れも賊團の狙手に倒れ長女は左脚に重傷を負ひ殘る全女は大半のみである然も原田の家は燒き拂はれて住むに所なき有樣である其他之れに類する悲慘は多く賊團に拉致せられたる者の内鮮支商人中にある由兼て未だ歸つて來られない

首領
陳鷹は第二回の拉致せられたる者の談に依れば歸還の途中死亡した竹が鶴囚の談話であると聞いたとと云ふ話である負傷者は賊で銃彈の爲に收容手當を加へて居るが目下は無事である云々

慘劇
は繰返さるる樣な事は無からう領事が御眞影を捧持して猛火の中に生死不明になつたとの報道は誤りであつて領事は無事である

下馬事には支那官兵歩工各一營宛あるも彼等は果して如何なる程度迄警備の實力を有するは甚だ疑問である特に工兵の如きに至つては何れも吉林省出身の無頼の徒のみで現に十月二日夜の如きは彼等が賊團中民の爲出陣して踏營するや賊民は之れを賊團と誤認して市街より逃避せる際に乘じ市街に闖入し掠奪を恣にしたるが如きによつても一班を察知する事が出來る三日朝に至つて延吉城より成兵營備隊〇〇〇隊入城し市中は稍秩序を回復し同日午後三時頃に至り再度來襲して來た賊團も成兵の奮擊に遭つて苦もなく敗走し越えて四日午後二時頃二道溝に來襲した賊團も亦我〇〇隊との挾擊に逢つて潰走して遁却した由であるが市中の婦女小兒は何れも馬賊に逃避して市中殆んど婦女子のみとなりて成兵の勇敢なる擊退振に感心して居る云々

漸く平年作の一割
北支那饑饉の慘状
棉の實を喰ふ者さへある

山東直隸方面の饑饉狀況調査に赴き八日歸京せる某氏の談に曰く直隸省南部一帶の農作物は不良にして要穀も不足なり又全然發芽せざる地方もあり寄麥高粱蜀黍等何れも不作に付細民中には棉實など

西南地方
不作にして東北に進むに随ひ稍良好なる處もあるも一般に一ひつゝある者もあり各縣共平年作りの一割を得るに過ぎざるべく花は太して不作に非ず概して

妙齡の婦人が三十兩
避難民で雜鬧する天津は
八疊一室の家賃五十兩
妻子を賣つて糊口を凌ぐ窮狀

十一日天津より門司に入港したる淡路丸乘組高級船員の齎らす所に依れば北支那の饑饉は想像以上で山東省各地の避難民は續々天津方面に入込んで來る爲貸家の大缺乏を告げ八疊一間の家賃が一ケ月五十兩を唱へられて居る之が爲住宅難と食糧の缺乏した避難民は雨や風に曝されながら市街を彷徨して夜間は強盜強姦等頻りに行はれ危險極まりなき故に本船員の如きは上陸の際には短銃を懷中に忍ばして居た饑饉地方の住民は背に腹は替へられず妻子を賣飛ばして糊口を凌いで居る妙齡の婦人が三十兩を唱へて居る天津では銀貨の相場が下つたので物價が低落し鷄卵六又一圓驢馬一頭十圓位である云々（下關來電）

發端に
及し「朝鮮獨立」と獨立希望」との見解の差別より獨立宣言書の精神に就き逐ふべく被告等の事件の主旨に對し根本的の差違あるも決して不逞の行動をなしたるは遂行せんとするに在るにあらず」と述べ先づ被告等の事件の主旨に對して如何に廷に於ける供述中「獨立は希望せし迄」の指摘し得る數種の陳述を朗讀し一々之を破れた理由を擧げて第一部と之等の關係を判斷し花井式の辯論を弄し

語を轉し
孫秉熙、崔麟以下各被告の警務總監部檢事局公判

講習所に虎疫
順化院に收容

京城内地人巡查講習所註佐一郞（二二）は十二日午後一時二十分より俄に激烈なる吐瀉をなし眞性虎疫と決定したるを以て十二日午前六時順化院に收容し講習所内は直に消毒を行ひたり尚目下順化院現在患者は眞正患者十六名保菌者二名にして近來新患者を見ざりし

李王世子殿下
近衛演習に御參加

李王世子殿下には金武官を從へ來る十六日より一週間近衛師第二旅團第一中隊附として近衛師團秋季演習に御參加の爲千葉縣下志津原地方へ御出張相成るべきが尚來る十一月二日頃より近衛師團機動演習に御出張相成る筈なるが本年大分縣下に於て擧行さるべき陸軍特別大演習には御參加なき由なり（東京來電）

列車衝突
死者二十八名
傷者多數を出す

巴里ナンテ間鐵道線ウイユールに於て列車衝突し死者二十八名と多數の負傷者を出したり（巴里來電）

不逞團の手先
マンマと網にかゝつて逮捕

平安北道博川郡西面新彙洞五三七番地無職金鎭化（二〇）は本年五月廿九日米穀商を營業の目的にて支那奉天に行き偶々金至變なる者に會ひ同人より獨立資金募集出資の勸誘を受け六月一日所持金三百圓を寄附したる後自分も上海に行きたき旨を述べたるに金至變は

脅迫し
たるに同人は定州邑出すべしと誘ひ金鎭化は之を支那料理店客の魚より直に內にて手渡しすべしと誘ひ金鎭化金錢を調達し來るべしと偽り直に定州警察署にて届出でたるに依り金鎭化は之を否定し無く逮捕されたり

金策に
窮し前記朴昌華方に至り自分は上海假政府員たる義州の金元則なり汝は曾て假政府に獨立資金として出資したることある者なるも僅に三百圓位にては資産に不相應の少額なれば更に出資すべし若し之に應ぜざるに於ては後難を免れざるべしと恐喝し其の儘去りたるが其後手紙にて數日後行くべきに依り金を調達し置くべしと通報し同月十五日金鎭化の鍵は村昌華宅に行く途中同人の詳細に出會し同人に對し前日の金を

は現金千圓を出資せざれば假政府に於ても之を信用せざるを以て極力調金せよと尙定州郡高城面財團を設け金三百圓を假政府に送金したりと語りしたるに金鎭化は一應歸宅し六月二十六日更に金二百圓を奉天に持參し自稱北間島居住車鄭泳に對し該金を上海假政府に送金方を托し歸宅し尙五百圓の

嫌疑者逃亡す
釜山爆彈の

釜山警察爆彈事件逃黑有力なる嫌疑者として廣島縣松永警察署にて嚴重監視中なりし朝鮮人金英郞（二）は九日午後二時頃尾の道方面に行くと稱して姿を晦まし行衛不明となりたるが廣島縣下各警察署にて全力をあげて行衛搜索中なり（吳來電）

救濟會等
を組織し居れるが未だ具體的救濟策を講じ或は之を實行をなしつゝある所なし細民に達せりといふ何れも各縣に於てにして山河縣のみにて十萬の多きを見受けず尚饑饉區域の住民にして天津奉天松花江方面に到れる者多數にして路傍に横たはるなどの慘狀は縣以南は細民最も多く松花江方面に到る樣を實見せり而も饑饉に瀕した

水田經營
をなせるもの多く水を灌へ居りて各地方に駐在軍の警備比較的嚴重なるが爲め現土匪の被害なし唯武器を携帶せる匪兵等在りて地方官は治匪の維持に腐心し居れり因に大正六年の水害を被りたる地方は未だ中一時土匪となれる者もあるも要するに賊は北京在の種類にして獨り文安縣の如きは米麥非作からず文安縣の如き一般の旱魃を免れなるのみならず一般の早魃を免れ粟豆類など豊年作と異らず（北京來電）

三面拔萃帖

● 長崎の支那人は北支那饑饉民に贈る十萬斤を贈るべく奔走中…

● 北鮮では十八歲以上四十歲以下の男子で自衞團を組織し馬賊の來襲に對抗して居る勇ましい事だ

● 和歌山で後備陸軍中將楠瀨夫人が井戸に投身して死んだ原因に就いては秘密にしてあるとか

● 蒙古では支那兵が大威張りでロシヤ人等は掠奪で捕られ泣き泣いて此取締方日本に頼んでゐると

● 驛恭事件は愚内地の新聞にも問題となつて紙面を賑して來てゐるが今春以來の重大出來事だ

● 汽車に轢かれた子供の死體が川崎から神戸迄引き摺られて來たと云ふ死體の無賃乘車の皮肉りだ

和田鐵道部長夫人

職て腦室扶斯及肺炎にて療養中の所昨十二日午前二時逝去されたり

紅燈私娼
ロマーンス
シベリヤに泣く女
（十）
同じ温房に
同じ運命をたどる二人の女

と云はず夜と云はずお園は殆ど熟睡に陷ると云ふ事がなかつたウツラとすると恐ろしい惡夢が身を襲ふて止まなかつた。夜は夜で風の音、襖の音の凡てが、何となく物悲しく胸に響いて、何處となく聞える、憐らしい赤子の泣き聲は

絹を裂く
樣に迫れ切つたる彼の女の胸に喰ひ入る程物凄かつた。頭部の痛は、いつになつても去らなかつた。

お園は自分の現の樣な半睡の境を幾日となく逍遙ふて居たのである

醫藥に乏しい此の地方では、僅に支那行商人の手に運ばれる怪しげな草藥を賴りに、殆にもならぬ全快の日を指折り數へて待ち詫る稼業等の生活は悲慘なものであつた

扉に鍵さ
おろされて

お園の温房には堅く夜は一切人の出入を禁ぜられて居つた

お園が自分の枕に着物を被せてそれを

赤兒の樣
に抱いて、眠りもなく戲れて居るのを、朋輩の女が見付けたのは、其れから一月程經つてからの事であつた

「お前の御母さんは晩に來るよお

▲ つた

た芳江の嘆が再燃した「芳江の亡靈が、毎夜の樣に赤兒を抱いて温房に迷ひ出るのだらう」と云ふ噂がパツト擴がつて終

だけれ共二人の女が同じ寢れる場所に呻吟するこ とは、暫らく忘れられて居た幽靈とならつて來た同じ温房に呻吟し、不運へ、同じ寢れる末路を

た物語はし乍に呻吟、咽び泣きの聲、凹の間に語れる其樣はいつとはなく、或恐ろしい噂を生み出す

園の眼の光りが既に怪しかつた。ども可笑い。

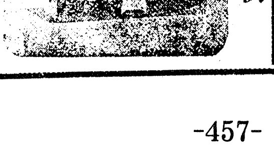
樓主が愈う氣が付いて、怨々知りの多の街から醫者を招いで診斷して貰ふと、果ふ方なく發狂して居ると醫者は云つた。

樓主は殆ど途方に暮れて了つた紹介人を電報で呼び寄せたり國許の心當りへ手紙を出して見たりした

手段を盡
くしてお園の身の始末を付樣と焦つたがこれとした頼りになる回答も得られなかつたのである

然るに新しい春が迎へられた

樓主は表面お園を國許へ送り歸すと言ふ名目の下に、紹介人が迎えに來て吹雪の激しい日の朝、お園は枕の赤兒を風呂敷に包んで家を出立した



和田一郎妻篤子儀病氣ノ處養生不相叶十二日午前二時死去致候此段謹告候也
追テ葬儀ハ途中行列ヲ廢シ明後十四日午後四時半南山町東本願寺別院ニ於テ執行可仕候
十月十二日
男　和田榮一
親族總代　大島敬收
　　　　　鶴野正助
　　　　　藤本新之五郎
　　　　　丸山安五治郎
友人總代　保坂正三郎
　　　　　大塚常三郎
　　　　　河内山樂藏
　　　　　久保要豐
　　　　　有賀光郎
　　　　　吉田節太郎
　　　　　新田留次郎
　　　　　近藤左右一
　　　　　新潟縣人會

專賣特許 間宮式手提金庫 割引提供
但シ符號付堅牢
本廣告切拔御持參又ハ添付（前金ニ限）御注文下サレ候御方ニ限リ前特價金貳拾四圓廣告ニ致居リ候一號更ニ左ノ價格ニ御割引仕候
●寸法竪一尺一寸横八寸高四寸五分
割引價格 金廿三圓
御送金ハ振替口座ヘ御拂込ノ方御便利ニ御座候
地方注文ハ荷造費及運賃實費御申受候
京城本町二丁目
株式會社 熊平商店
電話長一六二四番 三一一五番
振替京城一二二二番

■開業廣告
京城 原州間
原州 春川間
江陵行（特定連絡）
來る十月十五日より開業
京城鍾路パコダ公園前
半島自動車部
電話二七九七番

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
▲其他旅行用具一切
▲魔法瓶及中瓶取替
京城本町電話貳五四番
高木旅行用具店

小栗判官照手姫

旭亭櫻山口演 舟 速記

(九十七)

天狗山の忍術會得

此の氣合術は現に忍術秘術會の用中氏などもかな〳〵名高いものでございます、此の人が先日成塚殿で實際行つた處を拜見いたしましたが、何とも恐れ入つたもので、先方がヤツと打込んで來る、それに對してエイツと氣合を掛けるとモウ二度と打込む事が出來ない、身體も手も出なければ足も出ない、はり附けのやうになつて、唯クツ〳〵言つて居る、他で見て居ると恐然嘘のやうで嘘でもなければ可笑いやうで可笑くもない、段々聽いて見ますと、心さへ統一すれば其の氣合と云ふものは出來るのだとか、心の統一とは何の事か、何でも無念無想になつてやる術で今始まつた譯ではないと申します

出た後、後藤兵助、後藤大八郎、神出司、鍛地太郎の四人は河野七郎右衛門方に在つて八郎の歸りを待つて居りましたが、此の主人の七郎右衛門、風邪の工合で打臥したが原因で、今は床を離れる事も出來ないやうな重態に陷りました

石鹸製造 京城元町 生田組工場 電話龍山八二六番

後藤等四人も代る〳〵來て看病致しますのを、七郎右衛門は誠に嬉しい事に思ひ 七「親類は當然だが客人として來て居る貴方方斯うやつてお手厚い介抱を受け七郎右衛門何により有難く存じます」涙を流して四人に禮を云ふから、年寄の後藤兵助が慰めて 兵「袖摺れ合ふも他生の緣、躓づく石も緣の端とやら、斯うやつてお世話になつて居る吾々四人、貴所の病氣の看護をする位は當然の話、決してお氣に掛けないで下さるやう、其内に笠間八郎が山から立歸つて來るでございませう、彼が戻りました曉は、又長い旅にかゝらねばならぬ身の上、先づ其れまでは御迷惑ながら御厄介に相成ります」七「どうかさう云はずと貴客方は生涯此土地でお暮し下さるやう願ひ度う存じます」

其術を八郎政忠會得致しましたが茲で試驗をして見なければなりません、先生の許可を得て、今まで兄弟子と睨んで居た猿どもへ試して見ると、成程立派に氣合が掛る掛けられた猿は動く事が出來ないサア斯うなると猿も八郎が恐ろしくなつたと見えて大勢寄合を付け○「オイ赤々」赤「何だ〳〵」○「アノ何だぜ、山から來た伯父さんも、此頃は大先生みたいに氣合術とか云ふ事を覺えて來た、是れは危くなつた。氣をつけろ、言ふ事を肯かないと可けねえぞ」段々猿仲間で相談をして、此頃は八郎の顏を見ると、小さくなつて大先生に仕へる如くになりました、八郎政忠はどんなに嬉しいか知れません。さて是れだけの事を授かつて見ると、白髮道人は大切なる秘訣、何か寸志を現して當所を出立致したいと云ふ事を心掛けましたが、粗衣粗食の道人に、何を擧げて宜いものか八郎も只管其事に屈託いたして居りました、お話が二つに分れて笠間八郎が修行に

京染 あらき屋 呉服 京染仕立物 京城本町三 電話二〇六八

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 **大正館**
●當る十月八日より引續き大興行
●實寫「北亞弗利加風俗」長尺
●喜劇「ゼーン飛行機」長尺
尾上松之助十八番劇

夢の市郎兵衛 江戸侠客

男の一言 米國メトロ會社特作 全五卷

生さぬ仲 日活會社 柳川春葉先生大作 全六卷

每月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

喜樂館 本町壹丁目 電話九七番 當る十月八日より三大映畫提供

實寫 日本北海アイヌの熊狩 滑稽 劍の騷動 長尺

新派 日活向島派特作映畫 **女魔術師** 全五卷

人情活劇 メトロ會社特作 **紅一點** 全五卷

日活京都派一部新作封切映畫 舊劇 **阿部豊後守** 全六卷

武士の典型が半生の物語り
○每日晝夜二回開館

黄金館 電話二三六六・三六七 國活會社特約

當る十月九日より特別大興行 大阪藥種工御披露當地賣藥家諸氏の御後援御寄贈品 景品總額金壹千圓也

新派時代劇 **常暗ヨリ光へ** 全五卷 五味國太郎新撮影

第十六篇第十七篇 **名金** 全四卷 白熱的大好評の連續寫眞

西洋社會劇 **勞働者ガラオ** 前週非常な好評の 後篇五卷

純映畫劇 **白菊物語** 全五卷 原作者 岡山政正 花柳はるみ嬢。吾妻光子嬢。出演

○時代の要求に鑑み每日晝夜開館

壽館 本町七八五 十日ヨリ東京浪花歌劇團第三回公演

第一 名村春操曲編 小櫻梅夜作 ミュヂカル コメデー 一場

第二 名村春操作 並曲編 戀の見物 喜歌劇 二場

第三 同上 賓石 喜歌劇 二場

第四 名村春操課編 並曲編 遊藥劇 二場

第五 歌舞劇 靈の導き 女軍出征 二場 一場

慢性ふくまく炎 腹膜炎 播州明石市 森末博愛院

朝鮮郵船

元山出帆（取扱 元山 海陸運輸會社）

大阪行 十月十三日 清津丸
下關行 十月十四日 京畿丸
江原道行 十月十三日 濟州丸
敦賀行 十月十七日 立神丸
浦潮行 十月廿四日 立神丸
雄基行 十月十五日 會寧丸
浦鹽行 十月十七日 平安丸

釜山出帆（取扱 大池回漕部）

大阪行 十月十五日 清津丸
大阪行 十月十五日 成鏡丸
下關行 十月十七日 京畿丸
新義州行 十月十七日 新義州丸
北鮮行 十月十三日 會寧丸
南鮮行 十月十五日 平安丸
對馬行 十月十七日 金海丸
濟州島行 十月十三日 平壤丸
木浦行 十月廿四日 濟州丸
新義州行 十月十四日 櫻島丸

木浦出帆（取扱 野村回漕店）

大阪行 十月十三日 成鏡丸
釜山行 十月十三日 海州丸
濟州島行 十月廿一日 慶興丸
多島海行 十月廿一日 公州丸
仁川行 十月十七日 全州丸
新義州行 十月十八日 成鏡丸
群山濟州行 十月廿三日 平壤丸

仁川出帆（取扱 郵船店堀）

大阪行 十月廿七日 新義州丸
新義州行 十月廿一日 成鏡丸
木浦行 十月廿二日 全州丸
海州行 十月十四日 順天丸
鎭南浦行 十月十八日 敦賀丸
青島行 十月十四日 江原丸
新義州行 十月十五日 平壤丸

朝鮮郵船株式會社 電話 二二二番 三二一番 三二二番
釜山支店 電話一八四番
元山出張所 電話四六四番

京城取扱店 釜山佐藤町 元山海岸町
○當社八幡線、日本郵船會社、大阪商船會社ト連帶運送ノ便有之候 驛前 松原運送店 電話一〇二番

●ゴム底地下足袋の元祖 ●外縫足袋の親玉 ●阿波正藍染の元祖
實用新案四四三九四 ヨシトク外縫タビ 用途 草鞋・脚絆用ニシテ 鑛山・農場・山林・旅行・勞働用
新案登錄附ゴム底 地下タビ 一號品・二號品・小物
ヨシトクタビ
特約販賣店募集 營業案内及相場表送呈
德島市通町 德島足袋株式會社 長距離電話三四八番 振替大阪三六二九二番

十倍酢 酢乃素 ミツヤ印
最上清酢 京城本町四丁目 三矢酢釀造株式會社 電話 振替 七二六九番

電話開通 電話三三五三番 京城本町二丁目 山口樂器店

電話三四五二番 京城明治町二ノ五〇 出前迅速 西洋料理 中華料理 すきやき 丸木バー

電話三四〇八番 京城明治町二丁目 陶物商 三河屋

電話三三四三番 京城明治町二丁目五六 時計商 梅澤友七

電話三三七四番 京城旭町一丁目 呉服京染 越後屋

電話三三六八番 京城黄金町三ノ一九五 植木商 清香園

電話三三四六番 京城旭町三ノ五 京染呉服 福田民二郎

電話開通 三三四六番 京城旭町三ノ五 京染呉服 福田民二郎

電話三三一二番 電話三三一六番 東亞煙草會 板橋菊松

電話三四二八番 京城本町二丁目 新刊雜誌 古書籍 東京堂書店

電話三三二五番 京城本町四ノ一四九 本能寺

電話三三六六番 京城櫻井町二ノ一八九 醫科機械商 イワサキ商店

電話三三四五番 京城黄金町貳丁目七十番地 輸入品小賣 三好屋商店

電話三四六八番 京城明治町一ノ五四 仕出料理 日の出 三井康平

電話開通 三四二〇番 京城櫻井町一ノ三五 安藤葬儀社

一八七九番 黄金町四丁目黄金館前 毎日午前八時發車 廣州行自動車部

電話開通 三三五五番 明治町公設市場 食料雜貨商 杉内鶴藏

三三五四番 京城南大門驛前 トチ自轉車商會

四五三番 客用 三三〇九番 階下 京城旭町二丁目 浪花壽司

クリーニング洋服丸染 總督府御用達 苛性曹達一切使用セズ 西洋洗濯所 京城北米倉町七〇番地 電話 一八九四番

宮内省御用達 山邑酒造株式會社醸造 兵庫縣灘魚崎 櫻正宗 京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店 電話四八九番 振替京城五四四五番
サクラ正宗

製造本舖 京城黄金町三丁目 東洋製藥株式會社

惡筆者の損害

惡筆は實に見ツともない、毎日目に見へぬ大損害をして居る。しかし惡筆は手の癖であるから此手の癖から直さねばならぬ。近頃大評判の特許矯正器を應用して練習すればスグ能筆になること實驗に依て保證する。此珍らしき見本を入會申込は東京本郷區大學正門前帝國習字速成會へハガキで申込めば無代進呈する。尚ほ當會の内特許惡筆矯正器も無代進呈する

新刊書特賣提供

申込者には新刊雜誌無代進呈

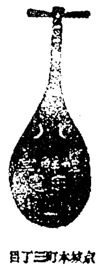
長谷川朗耀著 泣いて笑つて五十年 定價壹圓五十錢
渡邊小洋著 迷信の眞相を曝露す 定價壹圓二十錢
横尾老師著 盤若心經講話 定價壹圓七十錢
羽太鋭治博士著 性慾及生殖器の研究 定價貳圓五十錢
深安帝大教授著 外來思想批判 定價壹圓
森戸辰男氏譯 社會主義の世に起たら 定價壹圓四拾錢
堺利彦氏譯 ギルト社會主義 定價四拾錢
高崎博著 愛の幼 定價九拾錢
三木鬼外著 バルチザンと原内閣 定價壹圓

右送料代理部負擔 四拾錢以上の新刊雜誌一部宛當方見計らひ無代進呈す
發賣元 京城太平通二丁目 振替京城五三三六番 釜山日報京城代理部

良縁を得ざれば一生の不幸なり 周易筮占 縁談專門 京城黄金町四丁目 戸木晩翠 電話八三六番

和洋建築金物 並諸金物商 井原京城支店 京城本町一丁目

ピストル 米國式自動發銃 價特 ……○…… 本銃は米國發明の最新式にして堅牢なる構造… 發賣元 東京淺草區三筋町 岡清商店 振替東京二八七三番



橘宗家指定 筑前琵琶 製造元 京城本町三丁目

▲叮嚀ト敏速トヲ以テ預金貸付爲替等銀行一般ノ業務精々御便利ニ御取扱申候 ▲内地、朝鮮、滿洲ノ各樞要ナル場所及露領浦鹽斯德ニ爲替取引ノ便有之候

資本金六百五拾萬圓
○内地支店 大阪。大阪西。熊本。佐世保。嚴原。福江。武生水。坪井
○朝鮮支店 京城。釜山。仁川。元山。木浦 群山。新龍山。羅州。龍山
本店長崎市 株式會社十八銀行支店 京城黄金町 電話四一〇番 振替貯金口座番號京城八一四番

株式會社長崎貯蓄銀行代理店トシテ貯蓄預金受拂共精々御便利ニ御取扱申候 利息ハ元金百圓ニ付日歩壹錢參厘ニ有之一口壹錢以上何程ニテモ御預リ申候

優等清酒 登錄商標 富の寿 キブトコノミト 福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店 京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三三九番

豊作 清水式無砂精米麥機 一唯天下 商標 登錄 御用達 共濟田御用 御即位式 金銀牌十數個受領 注意 類似品不良なればなり 製造發賣元 陸海軍御用達 東京神田五軒町 合資會社 清水商會 電話下谷三七二三番 振替口座一〇一〇 動力極少量 發熱皆無 精白迅速 清水式特約店 大邱府元町二丁目 合資會社 杉原商店

AKATAMA 赤玉 食後からの胃腸には アカダマ固腸丸 樂天堂製藥株式會社

文房具 帳簿紙 測量具 機械運動具 京城本町一丁目 シノザキ商店 店主 篠崎半助 電話長六四八番 一三〇三番

小野田セメント會社製造 セメント 石灰 特約販賣 京城府古市町 東亞商工株式會社 電話長一九七 六四二 九一七

品質保證 耐久力 八千哩以上 タイヤ

消化力最強 品質一定不變 新式 柏木ヂアスターゼ 最新專賣特許の新式製法に依る ◎帝國醫科大學◎赤十字病院 ◎各府縣立病院◎公私立各病院 御採用品 發賣元 日本藥品洋行

健康は人世第一の幸福 それは最も優良なる人參エキスを召上れ 畏くも伏見宮殿下御買上の光榮に浴せる斯界の優秀品 高麗蔘精 定價 八瓦入金一圓十錢 三十瓦入金參圓五十錢 百廿瓦入金拾壹圓 送料は代理部負擔 注文は代理部にて取扱ふ 但し前金に限る 前金は振替を便とす 京城太平通二の九五 振替京城五三三六番 釜山日報京城代理部